

# 109期の風 (3学年便り ウェブ版活動報告)

## 109期生対象OB講話の実施報告

旧年 10 月 8 日にOB講話が実施されました。一昨年の遠藤友紀雄氏(1978 卒 73 期, 丸い 遠藤商店代表取締役), 昨年の小河原格氏(1967 卒 61 期 藪半代表取締役)に続く第 3 回目の今回は、松本紹圭氏(1998 卒 92 期 浄土真宗本願寺派教使, 神谷町光明寺宗徒, インターネット寺院「彼岸寺」運営, 正力松太郎賞青年奨励賞受賞)です。講話内容については、生徒のレポートで紹介させていただくこととし、ここでは私が生徒の感想を読んで感じたことについて若干ふれてみたいと思います。

生徒の感想を通して気づいたのは、109 期生は成長を欲しているということです。OBの話聞き素直に感動し、自分の生き方を顧み、今後の生きる姿勢の参考にしていこうとする姿です。ある者は自分の悩みと講話者の格闘をだぶらせて生きる力の糧としており、またある者は講話者のチャレンジ精神を自分の進路選択の決意のバネとしています。そんな 109 期生の向上心にふれ、私も心をオープンにし自分とは違う生き方から学ぶ姿勢を持っていきたいと思った次第です。自己の努力により未来を切り開くための「因」を身につけるとともに、チャンスを広げる「縁」が訪れるよう素直な感受性を大切にしたいと思います。

松本氏のプロフィール再掲(「higan net」[<http://www.higan.net>]より引用、一部改)

1979 年北海道生まれ、1998 年小樽潮陵高校卒業。本名、圭介。浄土真宗本願寺派光明寺僧侶。一般社団法人お寺の未来代表理事。蓮花寺佛教研究所研究員。米日財団リーダーシッププログラムフェロー。東京大学文学部哲学科卒業。超宗派仏教徒のウェブサイト『彼岸寺』(higan.net)を設立し、お寺の音楽会『誰そ彼』や、お寺カフェ『神谷町オープンテラス』を運営。ブルータス「真似のできない仕事術」、TokyoSource「東京発、未来を面白くするクリエイター、31 人」、週間東洋経済「U40 大図鑑」等、多数メディアに取り上げられる。2010 年、ロータリー財団国際親善奨励学生としてインド留学、Indian School of Business で MBA 取得。2012 年、若手住職向けにお寺の経営を指南する「未来の住職塾」を開講。200 名を超える意識の高い若手僧侶が「お寺から日本を元気にする」志のもとに各宗派から集結し、学びを深めている。2013 年、世界経済フォーラム(ダボス会議)の Young Global Leader に選出される。著書多数。近著に『お寺の教科書-未来の住職塾が開く、これからのお寺の 100 年-』(徳間書店)。著書に『おぼうさん、はじめました。』『“こころの静寂”を手に入れる 37 の方法』『お坊さん革命』『お坊さんが教えるこころが整う掃除の本』『脱「臆病」入門』『お寺の教科書』など。

## 講話内容紹介～109期生のレポートより～

**3Bの〇〇さんの講話レポート** 2003 年に東京大学卒業後、仏門へ。光明寺で、お寺でのコンサートやカフェ、その他座禅のアプリの開発など、社会に対し「開かれたお寺」への変革のため活動されるが、その土地のお寺それぞれに根ざした改革のため、経営学を学びにインドへ向かいMBAを取得された。帰国後「未来の住職塾」を開かれ、全国各地で講演を行われている。忙しい中でも「今」を意識していく舞台にお寺がなれることを目標として活動を続けられている。仏教によれば、物事にはすべて「縁起」があり、目に見える「因」の他に、見えない「縁」の影響も大きく、それを意識することが大事。自分が決めた方向性以外にも様々な分野へアンテナを向けて努力しつつ、時には力を抜いて過ごしてみよう。

**3Cの△△さんの講話レポート** 高校時代から「東京に出てみたい」と思っていた。東京大学に入り就活の時期になって他の仕事も考えたが、「お寺が好き」という気持ちが強かった。また祖父が住職だった影響が強く、結局光明寺というお寺に入る。「押しつけがましくない、気楽に入れるお寺」を目指して「お寺カフェ」や「インターネット寺院」などを始めた。経営学を学ぶためにインドへ留学後、「未来の住職塾」を始める。

お寺とは「生きる意味を問い、生きているという経験を取り戻す舞台装置」である。すべての結果には直接的な原因＝「因」と間接的な原因＝「縁」がある。自分の道はこっちだと思って進んでいる方向ではないところにも縁があるので、いろいろな方向に目を向けていることが大切である。



## 講話感想

### Aさんの感想

今回の松本さんの講話を聞いて大変ためになりました。略歴を見せていただいて、この人は世界の違う人だなあと感じていたのですが、とてもラフな雰囲気でも楽しく聞くことができました。特に後半の「様々な方面へ意識を向けることが大事」というお話は感動しました。私は美術系の進路を考え、専門学校への進学を考えていたのですが、最近になり予備校の先生に美大受験を勧められました。悩みはしましたが、結局諦めてしまい、「私はイラストがやりたいんだ!」と決め込んでいました。

そこに「視野は広げた方がよい」という言葉を聞いて、(イラストをやるから専門学校と)決めつけるのはよくなかったなと感じました。今年は大学受験はしないという決意を後悔はしていません。でも来年一年は予備校に通うことにしているので、自分がこれからどうあるかについて、改めてじっくり、なるべく視野を広げて考えていこうと思います。この度は貴重なお話を本当にありがとうございました!

**Bさんの感想** 今までのお寺に対するイメージが変わった。松本さんは積極的に色々なことに挑戦していて本当にすごいなと思った。私も3年生になって受験に挑もうとするなかで、自分にもこれからたくさん可能性があると感じており、今回松本さんの話を聞き、励まされたし、勇気づけられました。また、色々なことに挑戦し、可能性を広げたいし、自分でそのようなチャンスを得られるようになりたいと改めて感じた。

**Cさんの感想** 私は松本さんの、難しい局面に遭遇しても臆することなく、逆に自ら新しい道を開こうとチャレンジしていく姿勢に、とても衝撃を受けました。私は今までそのような局面に遭遇すると、失敗することが怖くて逃げてばかりいました。今回の松本さんのお話を聞き、失敗することは悪いことではないし、頑張りながらも心をオープンにして気楽にしていけばいいのだという、新しいことに気づきました。「縁起」のお話は初めて知ったものばかりでしたが、とても興味深いお話を聞くことができ良かったです。

**Dさんの感想** 私がすばらしいと思ったことは、昔から思っていることや信念を貫き続けて今の職業や活動につながっているということです。私もこだわりが強い方なので、信念のままにこれからの人生を選択していくこととともに、時には自分がどう生きたいか、何を大事にするかを改めて考えてみることも大事なんだな、と思いました。また、それと同時に違った世界や価値観にふれて刺激を受けてみたいなと思いました。お坊さんのお話を聞くのは法事の時ぐらいしかないので、松本さんの生いたちなど、興味深いお話が聞けて本当に良かったです。



上の写真の左側に移っているのは、松本氏の同級生や大先輩の方々です。松本氏の話をお聞きし、OBが記念館に詰めかけました。